

産経ソナエ

お墓の購入

0120

789・0621

「忙しい日に掃除や料理を代わりにお願いしたい」「家具の組み立てを手伝ってほしい」。こうした日常生活の困り事を解決するため、スマートフォンを使って近所の人に料金を払って手助けを頼めるアプリ「エニタイムズ」を運営する。

対象は家事のほか英会話やスポーツの指導、旅行の計画、進路相談などさまざま。「手助けしてほしい人と、空いた時間で収入を得たい人を結び付けることで、近所の人たちが助け合っていた昔ながらの地域社会を再現したい」と事業の狙いを説明する。

利用者はアプリに住所や氏名などの情報と、画面に表示されるニックネームを登録する。サービスを提供する側は1時間当たりの料金、内容を入力し、依頼したい人はアプリに表示され



「エニタイムズ」の角田千佳社長

困り事をアプリで解決

たリストから必要な項目を選ぶ。手助けを受ける側が何をしたいか、リクエストすることもできる。

料金は会社が目安を表示し、提供側と受け手がアプリ上で交渉して決める。1時間当たりの平均は2千円程度だ。料金的一定比率を手数料として会社が受け取る。「登録者は全国に拡大し、それぞれの地域で活用されている」。全国で3万人超が登録しているという。

不適切な取引内容がないか、会社が常にチェックするほか、利用者同士がお互いをアプリ上で評価するなどして、サービスの質を維持するよう工夫している。

大学卒業後、大手証券会社で個人向け営業を担当。地域社会で人のつながりが希薄になる一方、短時間で社会の役に立ちたいと考えている人も多いことに気付いた。「日常の困り事を手助けできるよう仲介する場を提供することで、多様な働き方の実現にもつなげたい」と話す。

〈つのだ・ちか〉慶大卒。野村証券などを経て平成25年会社設立。東京都出身。32歳。